



# LOV-T™ フライヤー スタートアップ フォーム

8700 LINE AVENUE SHREVEPORT, LA 71106 (800) 551-8633

日にち \_\_\_\_\_

店舗名 \_\_\_\_\_  
 店舗 # (該当する場合) \_\_\_\_\_  
 住所 \_\_\_\_\_  
 市/県 \_\_\_\_\_  
 店舗電話番号 ( ) \_\_\_\_\_

技術者 \_\_\_\_\_  
 サービスエージェンシー \_\_\_\_\_  
 住所 \_\_\_\_\_  
 市/県 \_\_\_\_\_  
 国 \_\_\_\_\_

フライヤー/フィルター型番	シリアル番号 (10桁)									

- 電気フライヤーに排熱ブロックオフプレートが設置されていることを確認します。  YES (はい)  NO (いいえ)  N/A (ガス)
- ユニバーサルフッドの場合、フライヤーの後ろに 2 インチ (50 mm) の隙間があることを確認します。  YES (はい)  NO (いいえ)
- グラビティブレードが正しく取り付けられていることを確認します。  YES (はい)  NO (いいえ)  N/A (ユニバーサルフッド)
- 迅速交換式ガスホースがフライヤー中央の下にあるガス管の接続口に繋がれ、ガス管左側の接続口が正しく塞がれていることを確認します。  YES (はい)  NO (いいえ)  N/A (ユニバーサルフッド)
- 保証ラベルの日付タブを外します。
- オペレーターマニュアルに従い、フライヤーが水平に設置され、適切に固定されていることを確認します。
- すべてのコントローラでセットアップを実行します。マニュアルを参照してください。ソフトウェアコントローラの記録を取ります
- SIB1 SIB2 VIB FIB**
- セットアップ時に日時が合っていることを確認します。**
- 設定/マネージャー/フィルター属性/後にろ過で、後にろ過設定がフライヤーステーションで 12 に設定され、プロテインステーションで 6 に設定されていることを確認します。
- 調理される商品のコントローラをマネージャーのリクエスト (フライドポテトなど) ごとにプログラムします。
- マニュアルを参照してください。
- インストールされているフライシステムがバルクオイルサプライ/廃棄システム (RTI など) に接続されていますか?  YES (はい)  NO (いいえ)
- フライヤーがバルクオイルサプライ/廃棄システム (RTI など) に接続されていた場合、セットアップ後に電源を一度切り、再度入れ直しましたか?  YES (はい)  NO (いいえ)
- ATO システムのフライヤーにフルオイルコンテナが設置、または (規定通りに) バルクオイルシステムから充填された JIB を設置します。マニュアルを参照してください。マニュアルを参照してください。
- すべてのバットを入念に掃除し、乾かします。すべてのバットで常温のオイルラインから 1/2 インチ下のラインまでオイルをいれます。
- フライヤーを設定値まで加熱し (ガスと電気フライヤー用の下記チェック表を参照)、温度が設定値より +/- 5°F / 2°C の温度であることを確認します。オイルレベルが ATO レベルセンサー (上部のオイルレベルライン) より低く、**AIF センサーより高く** (下部のオイルレベルライン) (必要に応じてオイルを追加/除く)、
- また各バットに油が補充されていることを確認します。
- それは深刻な正または負のエアバランスを持っていないことを確認するためにレストランをチェックしてください。
- ユニットを加熱している間、下記の表を使用して、ガス圧の確認および/または現在の消費電力チェックを行い、該当するエリアに読み取り値を記録します。
- ガスフライヤーフライヤーが加熱している間に、流入ガスの圧力を確認してください。(天然ガス: 6 ~ 14 インチ W.C.; LP ガス: 11 ~ 14" W.C.) を確認します。レコードの実際の着信圧力 \_\_\_\_\_。マニホールド圧力パーナー確認してください。下記の録音実際のパーナー管圧力。燃焼が適切であるか確認します。適切である場合、動作開始後 1 分経つと、フライヤーでは明るいオレンジ色の炎が見られます。ブローアの空気取入れ口を調節し、各点火装置の炎感知回路のアンプ数が 0.3 ~ 0.9 uA (マイクロアンペア) となるようにします。

ガス	バット #1	バット #2	バット #3	バット #4	バット #5	バット #6	バット #7	バット #8	バット #9	バット #10
パーナー圧力										
左 uA										
右 uA										

- 電気フライヤーの場合、ユニットが加熱されています。電圧が銘板に記載された電圧と一致するようにしてください。コントローラのヒートライトが消えているときに、すべてのフェーズでバランスを保ち、電流の引き込みがないようにします。

消費電力										
電気	バット #1	バット #2	バット #3	バット #4	バット #5	バット #6	バット #7	バット #8	バット #9	バット #10
L1										
L2										
L3										

- すべてのフィルターパーツ (フィルターパン、フィルタースクリーン、フィルターパッドまたはペーパー、ホールドダウンリング、油かすトレイ、および O リング) が付いていることを確認します。オイル漏れを目で確認し、システムですべての接続部分がしっかり取り付けられていることを確認します。
- フィルターパンの位置を確認します。パンはスムーズにスライドして所定の位置に収まらなければなりません。ピックアップチューブがパンの吸入チューブにしっかりとつながっていることを確認します。パンを引き出したときにはコントローラに「P」が表示されなければなりません。
- バットで自動フィルターを実行し、フィルターポンプが動作し、漏れないことを確認し、システムで漏れないようにします。
- 該当する場合、古いフライヤーのフレンドを取り外し、新しいものに取り換えます。

上記の確認を 2 時間で行い、フライヤーまたはプロテインステーションのいずれか 1 つのシステムを起動させます。